

市の考えを問う 一般質問

12月8日・9日・10日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。



庁舎設備点検作業

Q 業務委託契約について

A 競争性・透明性を絶対確保

近藤 英基 議員

質問一 各公民館における冷暖房設備保守点検業務委託について。
ア 入札対象額の積算根拠は。
イ すべての公民館で同業者9社の入札の理由は。
ウ 市内業者はそのうち何社か。
エ 前年と同一業者である理由は。
オ 点検の内容と日数、人数は。
カ 平成18年第3回定例会の時点からどう見直しがされたか。
答弁一 ア（市長） 過去の実績や専門業者の見積もり等総合的に判断した。
イ 実績のある業者と指名参加登録されている業者のうち9社を指名した。
ウ 2社である。
エ 公平性と透明性を確保するため、すべて入札に準じた形で実施した。特別な理由はない。
オ 東公民館が延べ8日で8名、南公民館が延べ4日で17名、北公



市庁舎

民館が延べ6日で13名、富士見公民館が延べ6日で11名、大橋公民館が延べ7日で19名、西公民館が延べ10日で45名である。
カ 公民館保守点検業務見直し検討委員会を設置し妥当性を検証してきた。今後も適切に対応する。
◎その他の質問 鶴ヶ島市地震ハザードマップ作成業務について

質問一 財源確保のための政策は。
ア 都市計画と土地利用計画について。
イ 企業誘致について。
ウ 納税者人口を増やすことについて。
ニ 魅力的なまちづくり政策は。
ア 福祉、教育の政策について。
イ 鶴ヶ島市の顔づくりについて。
ウ 都市基盤整備、都市施設整備

について。
答弁一 ア（市長） 適宜適切な土地利用計画の見直しと都市計画制度の活用を図る。
イ 南西部区域に誘致した37社による経済効果は区画整理事業への投資を超えるものである。
ウ 長期的、総合的な視点から検討する。
ニ ア 地域における身近な生活課題に対応し、地域社会を支える市民の力、地域の力、共助の仕組みが重要である。
（教育長） 教育基本法の精神や鶴ヶ島の現状を見すえ、教育振興基本計画の策定に取り組む。
イ（市長） 人が暮らし、未来に向けて成長し続けるまちを目指す。
ウ 都市計画マスタープランに即して、取り組む。
◎その他の質問 市民協働を実現する政策について

長谷川 清 議員

Q 鶴ヶ島市の政策について A 市民が幸せに暮らしていくことが根本